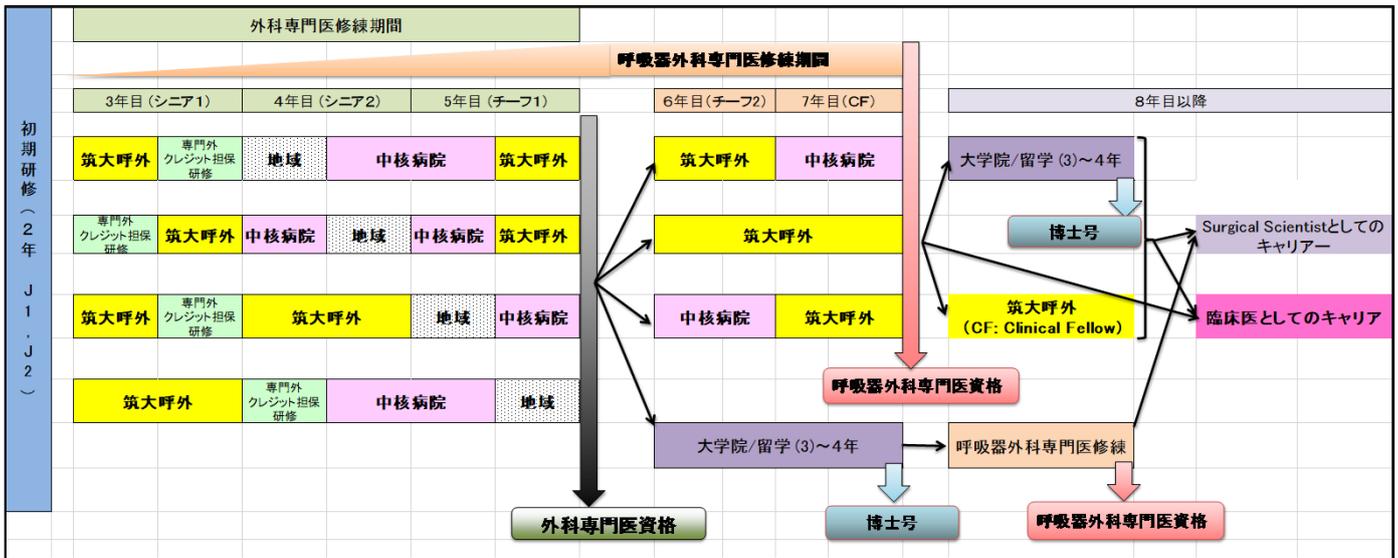


# 呼吸器外科コース

## 特徴

肺癌に代表される肺・縦隔・胸壁疾患を対象とする呼吸器外科医の育成は、肺癌が日本人の癌死の一位であり、その罹患も増え続けている現在、重要性が更に高まっています。呼吸器疾患の手術技術の習得、画像診断、気管支鏡検査、呼吸管理、術後管理、感染対策など、全身管理が出来る総合医としての能力を養います。さらに、基礎研究、先進医療開発を行う大学院教育を通じ、論理的思考能力を養成します。大学を中心とするSurgical Scientistとしての活動、高度機能病院で高難度手術の遂行、地域中核病院での臨床医療など、幅広く活躍できる人材を育成します。

## モデルプラン



【解説】 外科専門医資格を取得するまでの3年（場合によっては4年）の内、2年は基幹病院である筑波大学附属病院呼吸器外科で研修を行います。呼吸器外科以外の規定症例クレジットを担保する為に、他科のローテーションを6ヶ月まで認めます（3年間のうち、1-2年目の早い時期に修め、後半は呼吸器外科研修に集中する事が望ましい。）地域医療への外科診療の役割を習熟し、実行出来る様に、地域病院での研修を組み込むことも可能です。

学術研究を通じて、論理的な思考過程をトレーニングする大学院進学は、外科専門医取得後早期と、呼吸器外科専門医取得後の2つのタイミングで選択する事ができます。

大学院に進学しない専攻医の場合、8年目以降にクリニカルフェローとして主に臨床研究を行い、学術的思考を身に付けます。

- ＝中核病院＝
  - 【茨城県北地区】 日製日立総合病院・茨城東病院・日製ひたちなか総合病院
  - 【水戸地区】 茨城県立中央病院・水戸協同病院・国立水戸医療センター  
水戸済生会総合病院
  - 【茨城県南】 土浦協同病院・筑波メディカルセンター・筑波記念病院
  - 【茨城県西地区】 西南医療センター病院
  - 【茨城県外】 自治医科大学病院・がん研有明病院など

- ＝地域病院＝ 小山記念病院・常陸大宮済生会病院 など